

京都大学大学院教育学研究科 ・ グローバル教育展開オフィス

- 受給者 藤間公太先生（教育学環専攻教育社会学講座, 准教授）
- 国際交流活動名：Building Families Across Borders and Boundaries : Race and Adoption in America
- 主催者/主催団体等：SMBC京大スタジオ
- 実施場所・方法：京都大学吉田キャンパス教育学部本館第1会議室・対面
- 実施日：2025/12/3
- 参加者数：合計7名

活動の概要

George Washington Universityから石澤宏美教授をお招きし、“Building Families Across Borders and Boundaries: Race and Adoption in America”というタイトルでご講演をいただいた。石澤准教授は社会・家族人口学、移民研究、都市社会学を専門とする社会学者である。

本講演の核心は、異なる国籍や人種的背景を持つ子どもを養子に迎えることで異人種家族を構築する親たちが、人種的境界の流動性と持続性を示した点にある。具体的には、2000年の米国国勢調査、2007年の養親についての全国調査(NSAP)、2008-2012年の米国地域社会調査(ACS)を用いた分析から、大きく3つの点が明らかにされた。第1に、人種は家族形成に影響を与え続けていることである。第2に、親は相反する選好の間を模索することである。第3に、政策の転換が選択肢を再構築し続けていることである。

国際養子縁組の急激な減少や国内養子縁組の台頭など、アメリカの養子縁組の最近の動向にも触れられ、教育学研究科の教員、学生にとって非常に貴重な機会となった。質疑では、アメリカにおけるソーシャルワーカーの判断の基準や、行政側が親の人種によって養子の人種をコントロールしている可能性、本報告のような研究を行うためのデータへのアクセス可否の状況などについて、活発な議論が行われた。

京都大学大学院教育学研究科 ・ グローバル教育展開オフィス

- 受給者 藤間公太先生（教育学環専攻教育社会学講座, 准教授）
- 国際交流活動名：Building Families Across Borders and Boundaries : Race and Adoption in America
- 主催者/主催団体等：SMBC京大スタジオ
- 実施場所・方法：京都大学吉田キャンパス教育学部本館第1会議室・対面
- 実施日：2025/12/3
- 参加者数：合計7名

活動の様子・説明



講演会の様子

講演会の様子



講演会の様子

